

放送センター建替 基本計画の概要

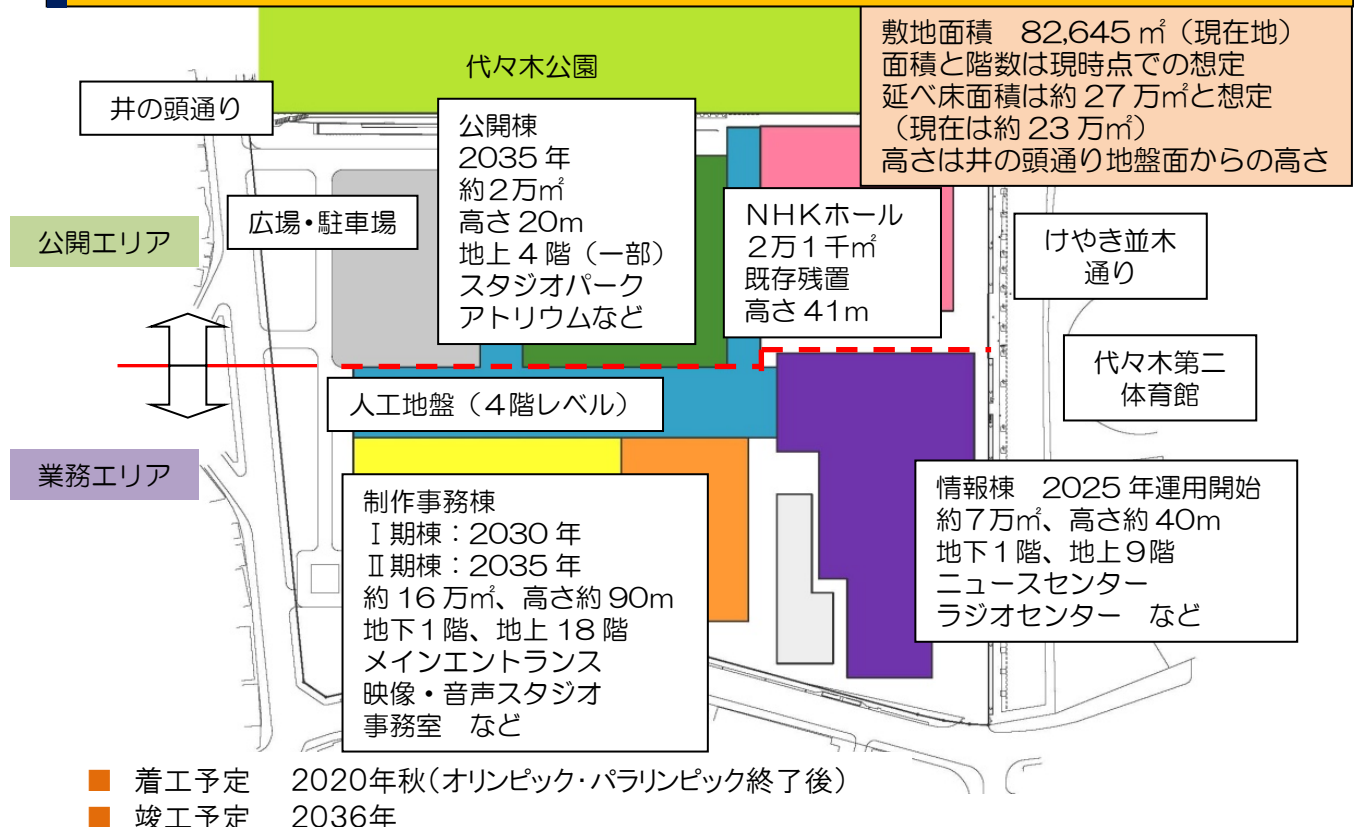
基本コンセプト

1. 世界を代表する公共メディアの拠点に
「新しい時代のNHKは何を目指すのか？」建替後の放送センターはその答でなければなりません。インターネットを活用したサービスやSHVなど新たな価値を視聴者に提供し、世界を代表する公共メディアの拠点を目指します。
2. 防災・減災報道の拠点に
「放送を通じて一人でも多くの命を救いたい。」それはNHKの使命であり、職員・スタッフ一人一人の願いでもあります。どのような災害が起きても国民の命と暮らしを守ることができるよう、強靱で機能的な放送センターを建設します。
3. 創造性を生み出す空間に
いつの時代も変わらぬNHKの誇りは、豊かで質の高いコンテンツです。視聴者・国民の期待にこたえられるよう、放送センターを創造性を生み出す空間にし、あわせて効率的な番組づくりにも心がけます。
4. 街づくりとの調和
渋谷駅の整備や周辺再開発など、渋谷の街は2020年のオリンピック・パラリンピックの前後に大きく変わります。公開性を高めたり緑化を進めたりして、生まれ変わる渋谷の街にふさわしく、環境にも配慮した放送センターを目指します。

建替にあたっての方針

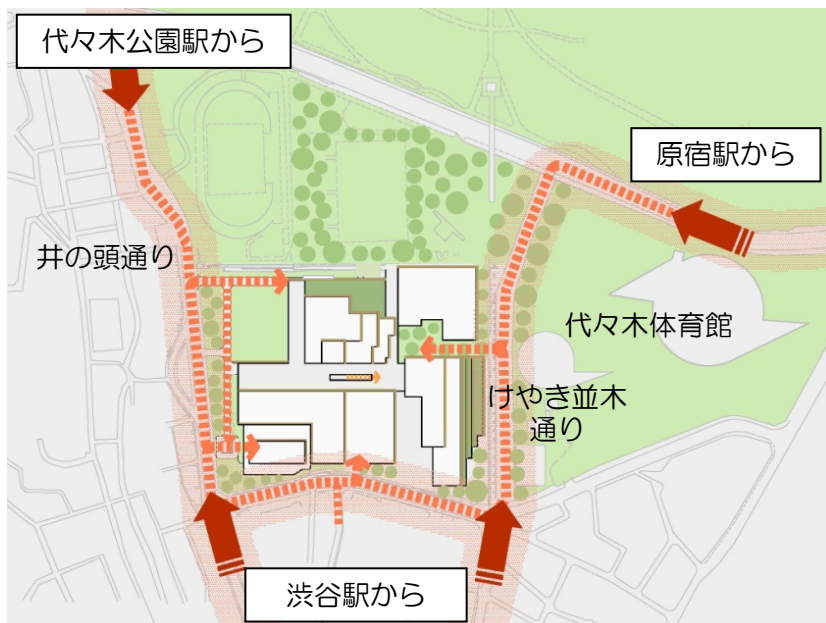
1. 現在地で一体整備
2. 強靱で長持ちする建物
3. コストの抑制
4. NHKホールの継続使用
5. 新しいサービスと働き方を反映
6. 確実な事業継続
7. 公開とセキュリティの両立
8. 情報セキュリティ強化とスペース有効活用

配置イメージと建替後の概要



地域との調和～ 渋谷の街とともに みなさまから親しまれる放送センターに

放送センターは渋谷駅と原宿駅を結ぶ動線上にあり、周辺には緑豊かな代々木公園が広がっています。イベントや公開施設を通して、生まれ変わる渋谷の街とつながりを深めるとともに、屋上緑化や植栽などによって周辺環境との調和を目指します。



発注・契約方式

- 分割発注
工期が長いため、全体を何回かに分割して発注します。
- 第Ⅰ期の発注範囲
第Ⅰ期の発注については、情報棟の完成・運用開始までと考えています。第Ⅱ期以降については今後決めて行くことになります。
- 設計・施工一括発注
運用中の放送センターからの放送継続を確実にに行えるようにするには、施工方法を考慮しながら設計する必要があるため、第Ⅰ期については設計・施工一括発注方式を採用します。設計と施工会社がJVを組む場合や施工会社が設計も行う場合があります。

コスト

- 想定建設費（建物費、設計・監理料、電源設備費）（税抜）

第Ⅰ期 情報棟	第Ⅱ期以降 制作事務棟・公開棟
600億円	1,100億円

- ▼ 第Ⅱ期以降については、発注範囲をまだ決めていないため一括した金額となっています。
- ▼ 上記の経費には放送設備費は含まれていません。
- ▼ 金額は現時点での想定であり、今後の社会・経済情勢の変化や協会を取りまく環境の変化、それに業者選定等の過程で変わる可能性があります。

放送設備費について

新放送センター関連の経費のうち放送設備費については、将来の放送サービスの内容が不確定なうえ、開発される設備やその価格を見通すことができず、現段階では算定を行っていません。放送設備は現設備の更新の形で整備を進めることを原則とし、従来の設備投資の範囲内で対応するように努めます。

今後のスケジュール

2017年末	情報棟の設計・施工業者決定	2030年	制作事務Ⅰ期棟運用開始
2020年秋	情報棟着工	2035年	制作事務Ⅱ期棟・公開棟運用開始
2025年	情報棟運用開始	2036年	人工地盤・駐車場完成・全体竣工